

公開シンポジウム
「低投票率を問題としてどうとらえるか」の開催について

1. 主催 政治学委員会政治過程分科会

2. 日時・場所

平成 25 年 9 月 15 日（日） 13 時 20 分～15 時 20 分

北海学園大学

〒062-8605 札幌市豊平区旭町 4 丁目 1 番 40 号

3. 開催趣旨

各種選挙における「低投票率」とりわけ若年層の投票率低下は、日本のみならず先進諸国における共通の現象となっている。これを放置することは、民主主義的な政治の正統性を脅かすことにも繋がりにかぬないと思われる。

そこで今回は、この問題に関心を有する政治学者を報告者・討論者として迎えて公開シンポジウムを開催し、「低投票率」という状況を政治学的にどう「問題」としてとらえるか、そしてそれに対してどのような対応策があり得るのか、といった問題について広く討論する機会を設定したいと考えた。

4. 次第

司 会：小林 良彰（日本学術会議副会長、慶應義塾大学法学部教授）

講 師：小野 耕二（日本学術会議連携会員、名古屋大学法学研究科教授）

西川 伸一（日本学術会議連携会員、明治大学政治経済学部教授）

谷口 尚子（日本学術会議連携会員、東京工業大学社会理工学研究科准教授）

コメンテーター：

杉田 敦（日本学術会議会員、法政大学法学部教授）

岡田 陽介（慶應義塾大学講師）

一般公開。参加費は無料。事前予約無（席が埋まり次第終了）

問い合わせ先：scj.politics@gmail.com

日本学術会議政治学委員会